

公開授業B

第6学年2組 外国語活動指導案

平成27年10月27日(火) 5時間目 場所 6-2教室 T1 東宮 美穂
T2 西辻 充子(JET)
T3 光岡 美江(外国語ボランティア)

1 単元名 Let's go to Italy. ～友だちを旅行にさそおう～ (Lesson5)

2 目標

- ・自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。(文化や言語に関する気付き)

3 単元について

本単元は、行きたい国について尋ねたり、行きたい理由を言ったりする会話練習やゲームを楽しみながら繰り返し行うことで、「I want to ~.」の言い方に慣れ親しむと同時に、世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付くことをねらいとしている。「I want to ~.」の言い方や今までに学習した表現方法を使って、自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、積極的に友達の発表を聞いたりする活動に取り組むことで、相手に自分の思いが伝わった喜びや、相手の思いがわかった喜びを味わわせ、コミュニケーションへの関心や意欲を高めることができる単元であると考えられる。本校では、「聞く・話す活動を通して、かかわり合い 高め合う子どもの育成」をテーマに授業研究に取り組んでいる。外国語活動においては、「あいづち・ジェスチャー・表情」などを大切にしながら積極的に関わり合うことで、相手との相互理解を深め、「もっと伝えたい」「もっと知りたい」という学習意欲の向上につなげていこうと考えている。本単元は、積極的に関わり合うことで相手との相互理解を深めるのに最適であると考えられる。

本学級の児童は、外国語活動の中で行うクイズやゲームが大好きである。また、楽しくコミュニケーションを取り合えるように、ペア活動やグループ活動を多く取り入れてきたために意欲的に取り組み、4月当初から比べると自分から進んで発言しようとする姿が増えてきている。しかし、一方で、英語で話すことに自信のない子どもや、友達の言葉をしっかり聞き取ろうとせずに活動を続ける子どもも見られる。そこで、ペアやグループなどの小集団での活動からスタートして、英語で話すことに慣れ親しむようにしてきた。また、発音が違って、相手に伝えようと一生懸命に取り組む姿勢が大切だという雰囲気づくりを、普段の学級経営から心掛けている。

本時では、英語を話すことに自信のない子どもたちが、安心して活動を始められるように、慣れ親しんだあいさつから始める。あいづちや表情で反応していくあいさつを交わし、ほめ言葉をゲーム感覚で伝え合う活動を通して、子どもたちの意欲が高まっていくことを期待している。次に、言い方に慣れ親しむ活動をテンポよく行った後、入国審査シミュレーションゲームを行う。英語が伝わった喜びを感じられるように、手作りのパスポートを使い、友達と旅行に行く場面を設定する。「Where do you want to go?」「I want to go to Italy.」だけではなく、誕生日や好きなスポーツなど、今までに学んだことを使って、コミュニケーションをとっていく。あいづちや表情、ちょっとした動作を付け加えることで、うまく相手に伝えられ、「英語で自分のことを伝えられてよかった。嬉しい。」と思えるような活動になることを期待している。ALTや外国語ボランティアの先生とも協力しながら、励ましの言葉がけを意識して取り入れるようにしたい。子どもたちと共に楽しむ姿を積極的に見せながら、子どもたち全員が楽しんで取り組めるようにしていきたい。児童が安心して授業を受けられる雰囲気をつくり、友達と積極的に関わり合っていくことの大切さと楽しさを実感させたい。

4 学習計画(6時間完了)

- (1) 世界にはさまざまな国があることを知り、有名な場所・物の言い方を知る。・・・1時間
- (2) 行きたい国やその理由について、尋ねたり言ったりする表現を知る。・・・1時間
- (3) 行きたい国について、詳しく調べる。・・・1時間
- (4) 行きたい国やその理由について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。・・・2時間(本時2/2)
- (5) おすすめの国を友達と紹介し合って、互いを理解する。・・・1時間

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・行きたい国や理由について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・友達とあいづちやジェスチャーなどを使ったコミュニケーションを楽しもうとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 準備

教師：掲示用国旗カード、掲示用パスポート、国旗シール、振り返りプリント

児童：国旗カード、パスポート

(3) 学習課程

	学習活動	・T1の支援 ※評価	・T2・T3の支援
5 つかむ	1 あいさつをする ・各先生と ・グループの友達と (リレー形式) 2 ワードトス (ほめ言葉) をする。	・あいづち、ジェスチャー、表情などを大切にしながら関わり合えるように、励ましの声をかける。 ・気分を表すカードを掲示する。 ・安心して活動を始められるように、慣れ親しんだあいさつから始める。	・明るく楽しい雰囲気を始められるように、子どもたちのそばで声をかけたり、一緒に活動したりする。
10 深め・広げる	3 国の言い方や行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ・リピート (全体・グループ) ・シェイクハンズゲーム (グループ) ・ラッキーカードゲーム (グループ) A : Where do you want to go? B : I want to go to Italy. A : Why? B : I like pizza. A : Here you are. B : Thank you.	・意欲的に取り組めるように、テンポよくゲームを進めたり、グループなど学習形態を変えたりする。 ・意欲的に取り組めるように、励ましの言葉を積極的にかける。	・ゲームのイメージがわからない児童がいた時には、担任と一緒に前でデモンストレーションする。 ・発音することを苦手とする子が自信をもてるように、そばで発音する。 ・スムーズに活動できるように、子どもと一緒に活動し、支援する。
25	4 入国審査シミュレーションゲームをしながら、英語が伝わる喜びを感じる。 A : Hello. B : Hello. A : Where do you want to go? B : I want to go to Italy. A : Why? B : I like pizza. A : Good. What is your name? (Name please.) B : I'm ○○	・子どもたちの意欲を高めるために、T2.3と一緒に、楽しい雰囲気デモンストレーションする。 ・視覚からも理解できるように、掲示した拡大パスポートを指しながらデモンストレーションする。 ・コミュニケーションの意欲を、高めるために、はげましの言葉がけを意識して取り入れる。 ・うまく伝わった喜びを感じ	・T1と一緒に、前でデモンストレーションする。 ・積極的に関われない子どもに声をかける。 ・事前に、いろいろな国の情報を知っておく。 ・自分が行きたい国について事前に調べておく。 ・スムーズに進むように、すいている入国審査ブースへ子どもを促す。 ・うまく伝わった喜びを感じ

友達と、行きたい国について聞いたり言ったりして、言い方に慣れよう。

入国審査シミュレーションゲームをして、自分の思いを伝えよう。

	<p>A : When is your birthday? B : My birthday is April 16. A : What sports do you like? (food, color などについて、 1回尋ねる。) B : I like baseball. A : パスポートに、国旗シール を貼って、Here you are. Excellent! (ほめ言葉) B : Thank you. A : See you. B : See you.</p>	<p>れるように、子どもたちの様子 をよく見て、タイミングよく励 ましの声をかける。 ※積極的に友達と会話を楽しん でいるか。(活動の様子) ※表情豊かに会話を楽しんでい るか。(活動の様子)</p>	<p>られるように、子どもたち と共に活動し、タイミング よく励ましの声をかける。</p>
<p>5 ま と め る</p>	<p>5 本時を振り返り、振り返り プリントに記入する。</p>	<p>・子どもたちの意欲が次時につな がるように、本時のよかったと ころを伝える。</p>	
<p>自分の思いが伝わったか、今日の活動を振り返ろう。</p>			
<p>・感想をシェアリングする。 ・次時の活動を知る。</p>		<p>※英語が友達に伝わる喜びを感 じることができたか。(振り返 りプリント)</p>	<p>・活動内容を想起できるよう に、本時の活動を振り返り ながら、机間指導する。</p>

〈ゲームの説明〉

- ・ワードトス：1列になって行う。相手とあいさつを交わしながら、ハイタッチや1回転するなどの同じジェスチャーをとることで、仲間との一体感や楽しいという気持ちを高めることができる。本学級では、7月からほめ言葉バージョンで行っている。ほめ言葉を楽しみながら繰り返し発音する中で、活動の中で自然にほめ言葉が出てくることを期待している。
- ・シェイクハンズゲーム：ペアやグループの仲間とリズムにのってかけ声をかけ、その後同時に、選んだ言葉を発する。互いの言葉が同じであれば、座ることができる。合わせようとする中で、互いの顔や目を見たり、気持ちを合わせたりすることができる。
- ・ラッキーカードゲーム：グループでまわくなで行う。Aが隣のBに、何のカードが欲しいか尋ね、持っていれば渡す。次にBが隣のCに、何のカードが欲しいか尋ね、持っていれば渡す。合図があるまで、同様に繰り返す。ゲーム終了時に、あらかじめ決めておいた絵カード（ラッキーカード）を持っている子どもが勝ちとなる。楽しみながら行う中で、何度も単語や表現を発音することができる。

(4) 評価

- ・行きたい国やその理由について尋ねたり言ったりすることができたか。(活動の様子)
- ・友達とあいづちやジェスチャーなどを使って、英語が友達に伝わる喜びを感じたり、活動を楽しもうとしたりすることができたか。(活動の様子・振り返りプリント)

6 板書計画

